

白石地区まちづくりビジョン



【概要版】



～住み続けたい、帰ってきたい、ぬくもりのあるふるさと～

■白石地区まちづくりビジョンとは（経緯と位置付け）

白石地区を取り巻く社会情勢などを踏まえて、今後どのようにまちづくりの取組を進めていくかについて、白石地区ネットワーク協議会及び関係団体が集まった「白石地区まちづくり勉強会・意見交換会」で検討しながら『白石地区まちづくりビジョン』を策定しました。ビジョンは、白石地区に住む私たちが力をあわせて取り組んでいくために、地域全体で共有する「理想の将来像」「実現に向けた目標」「取組の方向性」を示しています。

これからの白石地区のまちづくりに向けて地域で共有！

理想の将来像

実現に向けた
目標

取組の方向性

ビジョン策定の経緯

H28.10.30 勉強会・第1回意見交換会

H28.11.29 第2回意見交換会

H29.1.30 第3回意見交換会

白石地区まちづくりビジョン

白石地区ネットワーク協議会及び関係団体が話し合いながら策定しました。

■白石地区まちづくりビジョンの概要

【理想の将来像】

ホップ ステップ 白石!

～住み続けたい、帰ってきたい、ぬくもりのあるふるさと～

地区に住む人が住み続けたいと思うまち、また帰って来たいと思えるまちを理想の将来像と考えました。それに向けて、一歩ずつステップアップしながら次代につながる明るい未来を目指すことを大切にします。

目標 1

【実現に向けた目標】

子どもから高齢者まで健康で安心して 住み続けることができるまちづくり

白石地区に暮らす全ての住民が健やかに、そして安心して暮らすことができる地域は、住み続けたいと思う地域になります。高齢者の見守りや健康づくり、子どもの見守り、子育て支援などに取り組む、いつまでも住み続けたいと思うまちづくりが大切です。

【取組項目】

高齢者の見守り

（交流による見守り/見守りの仕組みづくり/買物支援）

健康づくり

子育て支援

子どもの見守り

防犯・防災

目標 2

様々な世代の交流から若い世代も関わり 賑わいをつくるまちづくり

子どもから高齢者まで多世代や団体同士などがつながり、交流できる機会や仕組みづくりが求められています。また、地域への関わりがあまり多くない若い世代の参加を促し、交流による地区の賑わいづくりも重要です。地域や人と関わることで愛着を持ってもらい、活動の担い手確保にも期待されます。

多世代交流

（参加の機会/交流の場）

若い世代の参加

（仕組みづくり/ニーズの把握/情報発信）

目標 3

白石地区の歴史や地域資源を誇りとして 育て伝えるまちづくり

白石村発祥の地である白石地区の歴史は、地区の特徴であるとともに、地域のふるさと意識を育む大切な誇りになります。それらの歴史や魅力を住民によって活用しながら大切に守り、しっかり地域に伝承していくことが重要と考えます。

歴史の活用・発信

地域資源の発掘

※取組の方向性は裏面をご覧ください。

■将来像の実現に向けた取組の方向性

まちづくりビジョンの実現に向けて、勉強会・意見交換会で出されたアイデアなども踏まえ、どのようなことから取り組んでいくかの方向性について、目標ごとに整理しました。

これらは、第3回意見交換会で、テーマごとに今後優先して取り組んでいくみんなで考えた取組の方向性です。これらの取組をスタートとしてみんなで活動していきたいと考えています。



目標1 子どもから高齢者まで健康で安心して住み続けることができるまちづくり

地域全体で高齢者を見守っていくために「高齢者の見守りの仕組みづくり」に向けて、サロンなど気軽に来る機会を充実させ、高齢者同士や地域住民との「交流による見守り」を優先的に進めていくことが求められます。多世代の交流にもつながるスポーツや健康づくりの取組も進めていくことが求められます。

【取組の方向性】

◆高齢者の見守り

交流による高齢者の見守り



高齢者の見守りの仕組みづくり

◆健康づくりと多世代交流

運動やスポーツを通じた健康づくり
多世代での健康増進による地域交流



安心して暮らせるまち

目標2 様々な世代の交流から若い世代も関わり賑わいをつくるまちづくり

若い世代の地域活動への関わりをつくりだし、賑わいのあるまちにするため、若い世代のニーズ把握や参加のきっかけづくりなど段階的に取組を進めていくことが大切です。加えて、それらの取組のベースとなる情報発信の工夫により、若い世代にも地域情報が届くようにすることが重要です。

【取組の方向性】

◆若い世代の参加の仕組みづくり

若い世代のニーズ把握

既存イベントの充実



若い世代が参加しやすい仕組みづくり

新たな情報発信の工夫・活用



新たな担い手確保

目標3 白石地区の歴史や地域資源を誇りとして育て伝えるまちづくり

歴史はもちろん地域の魅力などの情報を積極的に発信し、広く知ってもらうことが求められています。加えて、地域みんなが誇りとなる地域の資源を守り、育て、さらには伝えていくことが大切です。

【取組の方向性】

◆地域資源を活用した歴史などの発信

白石郷土館の活用

歴史マップの作成・歴史めぐりツアーの実施



歴史や魅力の発信

歴史ガイドの育成



ふるさと意識の醸成

人材育成